

給与支払報告書 (源泉徴収票) の記載の仕方

7	給与支払報告書(個人明細書)											
A	住所 長野県駒ヶ根市赤穂〇〇番地××											
B	氏名 駒ヶ根 早太郎											
C	源泉徴収税額 120,000											
D	社会保険料等の金額 社会保険料等の金額 120,000 生命保険料の控除額 85,000 地震保険料の控除額 50,000 住宅借入金等特別控除の額 34,900											
E	源泉徴収時所得税減税控除済額 ●●●円、控除外額 ●●●円、非控除対象配偶者減税有											
F	住宅借入金等特別控除の額 10,000,000											
G	源泉徴収時所得税減税控除済額 ●●●円、控除外額 ●●●円、非控除対象配偶者減税有											
H	社会保険料等の金額 社会保険料等の金額 40,000 生命保険料の控除額 30,000 地震保険料の控除額 15,000 住宅借入金等特別控除の額 20,000 源泉徴収税額 10,000											
I	住宅借入金等特別控除の額 10,000,000											
J	控除対象配偶者の氏名 駒ヶ根 彩織											
K	控除対象扶養親族の氏名 駒ヶ根 秀輝 駒ヶ根 実穂 赤穂 定樹 赤穂 芳子											
L	16歳未満の扶養親族の氏名 駒ヶ根 花菜里 駒ヶ根 友珠											
M	中途退職・退職 昭和 46 年 4 月 1 日											
N	受給者生年月日 昭和 46 年 4 月 14 日											
O	支払者 株式会社 KOMA KAPPA											

※注意点

- 給与支払報告書は2枚複写となっています。
- 市役所へは、1枚目を提出してください。
- 2枚目は源泉徴収票となっていますので、受給者本人へお渡しください。
- 給与支払報告書は別紙の総括表と一緒に提出してください。

A 「住所」欄

令和7年1月1日現在の住所を記入してください。
(令和6年中に退職された場合は、退職日現在の住所)

B 「氏名」欄

氏名、フリガナ、個人番号は個人特定のために必要となりますので必ず記入してください。

C 「源泉徴収税額」欄

- ・年末調整をした人は、年末調整後の源泉徴収税額を記入してください。
- ・年末調整をしない人は、令和6年中に源泉徴収した税額の合計額を記入してください。

D

- ・1,000万円を超える所得者の場合であっても、配偶者控除等申告書の提出があれば○を記入してください。
- ・また、J の欄に名前を記入してください。

E 「社会保険料等の金額」欄

- 上段…小規模企業共済等掛金の金額
- 下段…小規模企業共済等掛金を含めた社会保険料控除の合計額

F 「住宅借入金等特別控除の額」欄

「給与所得・退職所得に対する所得税源泉徴収簿」に基づいて計算した住宅借入金等特別控除の額を記入してください。

G 「摘要」欄

- 中途就職者が前職分を含めて年末調整した場合は、必ず前職の勤務先の名称・給与額・社会保険料・源泉徴収税額等を記入してください。
- ①の「控除対象扶養親族」欄に書ききれなかった5人目以降の扶養親族名を記入してください。
- 退職者等普通徴収切替理由に該当する場合は、普A～普Fの符号を記入してください。また、退職予定者は退職予定日を記入してください。

【定額減税について】年末調整を行った場合は、必ず下記のとおり記入してください。

- ・実際に控除した減税額を「源泉徴収時所得税減税控除済額●●●円」と記入
 - ・控除しきれなかった減税額がある場合は「控除外額●●●円」と記入 ※ない場合は「控除外額0円」と記入
 - ・非控除対象配偶者分を定額減税の計算に含めた場合は、「非控除対象配偶者減税有」と記入
- ※年末調整を行っていない場合は、定額減税に関する記載は不要です。

H 「生命保険料の金額の内訳」欄

生命保険料控除の対象となる、新・旧の一般生命保険料、介護医療保険料、新・旧の個人年金保険料の支払金額をそれぞれ記入してください。

J K 「扶養」欄

- ・控除対象扶養親族の氏名、フリガナ、個人番号を記入してください。
- ・また、5人目以降の控除対象扶養親族については、「摘要」欄に氏名を記入し、②の「5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号」欄に個人番号を記入してください。

M

令和6年中に就職、または退職された場合は、年月日を必ず記入してください。

I 「住宅借入金等特別控除の額の内訳」欄

住宅借入金等特別控除を受ける人は「控除可能額」と「居住開始年月日」を必ず記入してください。
※「給与所得者の住宅借入金等特別控除申告書」を参考にしてください。

L 「16歳未満の扶養親族」欄

- ・16歳未満の扶養親族の氏名、フリガナ、個人番号を記入してください。
- ・また、5人目以降の16歳未満の扶養親族については、「摘要」欄に氏名を記入し、③の「5人目以降の16歳未満の扶養親族の個人番号」欄に個人番号を記入してください。

N

生年月日は、個人特定のために必要となりますので必ず記入してください。